

■健全化判断比率の変更

(単位:%)

年度	区分	5次(11月)変更後	1次(3月)変更後	増減(1次-5次)
平成28年度	実質公債費比率	80.9	80.1	△ 0.8
	将来負担比率	775.0	747.1	△ 27.9
平成29年度	実質公債費比率	80.6	76.7	△ 3.9
	将来負担比率	699.5	552.1	△ 147.4
平成30年度	実質公債費比率	80.5	74.5	△ 6.0
	将来負担比率	630.9	499.3	△ 131.6
平成31年度	実質公債費比率	77.2	68.5	△ 8.7
	将来負担比率	565.7	448.4	△ 117.3
平成32年度	実質公債費比率	77.1	68.9	△ 8.2
	将来負担比率	496.0	422.5	△ 73.5
平成33年度	実質公債費比率	78.9	70.5	△ 8.4
	将来負担比率	465.3	422.7	△ 42.6
平成34年度	実質公債費比率	81.1	72.4	△ 8.7
	将来負担比率	398.8	375.8	△ 23.0
平成35年度	実質公債費比率	83.3	74.3	△ 9.0
	将来負担比率	331.3	325.3	△ 6.0

(単位:%)

年度	区分	5次(11月)変更後	1次(3月)変更後	増減(1次-5次)
平成36年度	実質公債費比率	84.0	75.5	△ 8.5
	将来負担比率	259.7	270.7	11.0
平成37年度	実質公債費比率	84.6	76.3	△ 8.3
	将来負担比率	183.8	211.9	28.1
平成38年度	実質公債費比率	85.3	78.7	△ 6.6
	将来負担比率	105.3	166.6	61.3
平成39年度	実質公債費比率	59.4	56.7	△ 2.7
	将来負担比率	29.2	124.9	95.7
平成40年度	実質公債費比率	33.4	35.1	1.7
	将来負担比率	—	79.2	79.2
平成41年度	実質公債費比率	7.0	11.6	4.6
	将来負担比率	—	34.6	34.6